



青少年指導員だより

金沢区

Youth 21



横浜市青少年指導員
シンボルマーク

発行 金沢区青少年指導員協議会
編集 広報部会

金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所 地域振興課内
電話 (045)788-7805
FAX (045)788-1937

2025いきいきフェスタ

秋の行楽日和の10月18日(土)10時から「第51回金沢まつり2025いきいきフェスタ」が、海の公園で開催されました。

事業PRコーナーには、90団体が出店したほか、砂浜の特設会場では9団体のフラダンスが、芝生園地の特設ステージでは、ダンスやバトン等の17団体の人達が日頃の練習の成果を披露し、多くの方々が見入っていて、大きな拍手をおくっていました。

青少年指導員協議会も「青少年指導員の活動チラシとクリアファイルをセットにしての配付」「じゃがいも掘りなどの上半期の活動を紹介したパネル展とぬり絵」「バルーン



金沢区青少年指導員 @いきいきフェスタ

アート・ぶんぶんこま・ひかるこま作り」を通じてPR活動を行いました。

特に、バルーンアート作りでは、用意した1,300本のバルーンは、「一人で剣が作れて楽しかった」と、その場で遊び始める子ども達に大人気で、すべてなくなってしまいました。また、色々なシールを使ってキラキラひかるこまを上手に作った子ども達も、笑顔が弾けていました。



活動チラシの配布



バルーンアート



ぶんぶんこま・ひかるこま作り



神奈川県青少年指導員表彰 富樫 法仁さん (富岡西・能見台)

神奈川県青少年育成功労者表彰 内野 千秋さん (六浦西)

神奈川県青少年育成活動推進者表彰 山田 孝裕さん (富岡第三) 内田 典克さん (金沢)

横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

- | | | |
|-----------------------|----------------|----------------------|
| 30年 山崎 尚人さん (六浦) | 芳垣 隆司さん (釜利谷) | 鈴木 浩二さん (六浦西) |
| 20年 清水 純子さん (富岡第二) | 前田 純一さん (六浦西) | 志賀 一則さん (六浦東) |
| 15年 菊地 則子さん (富岡西・能見台) | 阿部 拓朗さん (金沢中部) | 鈴木 千鶴さん (金沢シーサイドタウン) |
| 10年 鹿島 聖峰さん (富岡第二) | 浅野 功さん (富岡第二) | 山田 貴士さん (金沢) |
| 鈴木 崇さん (金沢シーサイドタウン) | 依田久美子さん (金沢南部) | |
| 小木 礼子さん (六浦西) | 小川 良太さん (六浦西) | |

金沢区青少年指導員永年勤続者顕彰 (6年) 佐藤 司さん (富岡第二) 村田 勝則さん (金沢南部)

金沢区社会福祉協議会社会福祉功労者表彰 鈴木 勝義さん (金沢)



令和7年度 表彰者の紹介

多年にわたり、積極的な青少年健全育成活動を行っている青少年指導員が、日頃の活動に対して表彰を受けました。おめでとうございます。





地区たより

金沢南部地区

BFC野島一泊研修

10月4日(土)～5日(日)、横浜市野島青少年センターにおいて、金沢南部地区BFC(少年消防クラブ)による一泊研修を行いました。コロナ禍後、一昨年に復活したこの研修への参加者は年々増え、子ども67名、保護者16名、青少年指導員及びスポーツ推進委員11名の合計94名が参加しました。今回は以下のプログラムを行いました。

10月4日(土)曇り時々雨

14時に入所式及び諸注意を行った後、早速ロープワーク教室を行いました。参加者は熱心に結びの練習に取り組みました。3種類の結び方を学んだ後、ロープを使ったゲームで盛り上がりました。夕食は、6年生が中心となって料理したカレーライスを美味しくいただきました。

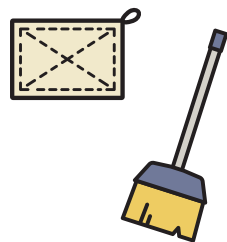
20時から、野島山展望台までナイトウォークを行いました。子ども達は「少し怖い」「虫の音がすごい」「木の匂いがする」などと言いながら夜の公園を歩き、野島山展望台からの夜景を楽しみました。



10月5日(日)曇り

6時30分に起床、研修センター前で元気にラジオ体操を行いました。その後、朝食、清掃、退所準備を行い、最後のプログラムのねじりパン作りに挑戦しました。炭火で焼いたパンは思いの外美味しく、自作の手作りパンを味わいました。

振り返りの感想文を書いた後、研修センターから退所の言葉を頂き、楽しい研修を終えました。多くの参加者が「来年も参加したい」と話していました。



金沢地区

みかん狩り



11月1日(土)に金沢地区連合町内会、社会福祉協議会のご協力のもと、柴シーサイドファームにてみかん狩りを開催しました。

8町内会、子ども74名、大人60名、役員10名の参加で、前日の大雨も上がり心地よい天気での開催となりました。

柴シーサイドファームを目指して役員を含め総勢144名が徒歩で走川公園から出発、海の公園で一休み後、子ども達は恒例の急坂を「きつい」と言いながら登り、みんなで元気に到着することが出来ました。

今年は手ごろなみかんも多く、子ども達は「甘い、甘い」と言い、「この木の方が甘くておいしい」とはしゃぎながら、友達と色々な木のみかんを例年より多く食べているかと思えば、畑の隅に幼い子がチョココンと座り、みかんを無心に食べていたり、それぞれがみかん狩りを楽しんでいました。

みかん狩りを終え、みかんを落さないように抱えながら、友達や家族とお弁当を食べたあとのお楽しみビンゴ大会で子ども達はまた大騒ぎで、特別賞や詰合せのお菓子を嬉しそうにもらっていました。ビンゴが終了しても準備したお菓子が残ったので、青少年指導員との争奪じゃんけん大会を行い、大盛り上がるのうちに楽しみ会が終了しました。

各々リュックからはみ出すほどみかんとお菓子を入れて「楽しかった」「次はじゃがいも掘りだよね?」「必ず来るよ」と嬉しそうに急坂を降りて、事故無くイベントを楽しく終了することが出来ました。

恒例となっているみかん狩りやじゃがいも掘りを多くの子ども達が楽しみにしてくれていたことを嬉しく思うと同時に、今後も子ども達が楽しめるイベントを企画していきたいと思えます。





六浦地区

みかん狩り

11月2日(日)に六浦地区のみかん狩りが開催されました。朝からよく晴れてとても暖かい絶好の陽気です。

金沢八景駅そばにある瀬戸町内会館から柴シーサイドファームまで、およそ4kmの道のりを徒歩で向かいます。



途中にある海の公園の休憩所で休息を取り、高台にある柴シーサイドファームに向かってもうひと頑張り。急な坂道を車やバイクをやり過ごしながら一步一步登っていきます。毎度のことながらこの坂はキツイんです。坂を登り切るとみかんが実る畑に到着。いよいよ収穫用のビニール袋とハサミを持ってみかん畑の中へ。

たくさんの木にみかんが鈴なりに実っています。木によってみかんの

甘さが違うので、当たりを見つけようと探していきませんが見た目では分かりませんね。それでも口いっぱい頬張りながら美味しそうなみかんを探していきます。

その場で食べてもよし、ビニール袋に入れて持ち帰ってもよし。

お腹もいっぱい、袋もいっぱいになって楽しいみかん狩りでした。

ごちそうさまでした!



六浦西地区

笑顔あふれた六浦西地区ウォークラリー大会

11月2日(日)に「第35回六浦西地区ウォークラリー大会」が、薄曇りのウォークラリー日和のもと、36チーム110名の参加者と役員を含めた総勢163名で開催されました。

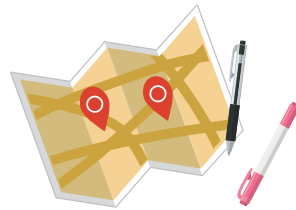
スタート地点の南川公園を9時30分、受付順に、黄色・緑色・赤色のビブスを着けて順次出発しました。各チームは、道標として横断歩道やお寺などの記号が記されているコマ図を見ながら、設定された5カ所(厄神様の祠、山王神社、高舟台自治会館、白山道興公園、朝比奈町公園)のチェックポイントを経由し、ゴールの湘南八景の六浦西第2公園まで、多少、汗ばみながらも全員が完歩しました。

保護者と小学校6年生の4人のチームは「きつかったけど頑張りました」と山王神社前でポーズをとって応えてくれました。「コマ図の見方で迷ってしまい、1時間も余計にかかってしまった」と言いながらも笑顔の小学生のチーム。山王神社の階段を「じゃんけんグリコ」をしながら69段を上がってきた

中学1年生の2人組。3世代家族の8名で参加したチームは、「きつかった所もあったが、初めてのところもあって半日楽しみました」と笑顔でゴールしました。

今年もゴール後の「豚汁」もあり、具たくさん豚汁をおかわりする参加者が続出しました。

大道中学校校区PTA及びスポーツ推進委員や主任児童委員の皆さんの協力もあり、事故もケガもなく、笑顔がたくさん見られた大会となりました。



富岡第二地区

とみにウォークラリー大会

11月3日(月・祝)、清々しい秋空の下、「第9回とみにウォークラリー大会」が開催されました。富岡は、明治期から昭和初期まで文化人や財界人が別荘などを建てていた場所で、その足跡を数多く残しています。その中で、「直木賞」で知られる直木三十五の邸宅跡や近代日本画の大家である川合玉堂の別邸跡・庭園を巡るコースとしました。

スタート地点では今年も「ぼたんちゃん」がみんなに声援を送り、出発を後押ししてくれました。

チェックポイントでは、「直木三十五邸跡」にある文学碑をヒントにしたクイズや「川合玉堂別邸」の別称「二松庵」にちなんだクイズが話題され、正解すると通過チェック表にスタンプをもらいます。

約1時間かけてのゴール後には、豪華景品が当たるクジ引きやお菓子詰め合わせの参加賞が待っていました。一等



賞はジュースの詰合せのほか、今年はブランド米もあり、子ども達は「ジュース」を欲しがりますが、大人は「ブランド米」を狙います。そして、当然大当たりすればどっちでも飛び跳ねての大喜びでした。

参加者数は、昨年とほぼ同じで、スタッフ含め219名でした。参加者からは「歴史に触れられて勉強になった」「急な上り坂があり、疲れたがいい運動になった」「一等ではなかったけど、いい景品がもらえてよかったです」などの感想がありました。

旧川合玉堂別邸(二松庵)庭園のボランティア団体の方々をはじめ関係者の皆様にたいへんお世話になりました。





金沢中部地区

ビンゴ大会

11月9日(日)、金沢中部地区ではみかん狩りを予定していましたが、スタッフ含めると、141名の申し込みがあり、多くの方が楽しみにしていたのを感じます。が、当日は雨予報。

そこで、みかん狩り後に開催する予定だったビンゴ大会を、独立した屋内イベントとして開催することにしました。みかん狩り集合場所のハイテラスは、夏に開催した「遊びの屋台村」の会場でもあります。参加者の方々に「中止」ではなく「変更」のお知らせをし、この場所で、「屋台村」の熱気をもう一度再現することに。

ビンゴ大会の他にも、ハイテラス自治会の方々が用意してくれたポッチャやラダーゲッターなど、あまり知られていないゲームを行ったり、ゲームには参加せず、部屋の端っこで集まっておしゃべりに興じたり、皆さん、思い思いの時間を過ごされました。

みかん狩りのために用意した景品やおみやげは、そのまま、参加者に配ることができました。みかん狩りはできなかったけど、皆さん、楽しい時間を過ごせたことと思います。



急きよの変更にも関わらず、無事に開催できたのは、各自治会や子供会、ハイテラスの管理組合、そして大きく盛り上げてくれたスポーツ推進委員の方々などのご協力のおかげ。ありがとうございました。



釜利谷地区

真剣勝負!白熱した百人一首大会

新しい年を迎えた1月11日(日)「第45回釜利谷地区中学校対抗百人一首大会」を西金沢学園分校舎の創志館にて開催しました。

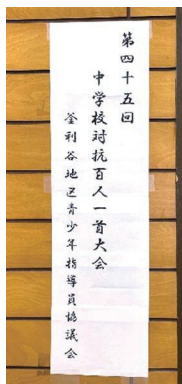
今年の大会には、金沢中学校の皆さんが参加できずとても残念でしたが、釜利谷中学校生徒20名、西金沢学園生徒20名、総勢40名の競技者が熱い戦いが繰り広げられました。会場には校長先生・付添いの先生方・保護者・地域の皆様も多数応援に駆けつけ、競技の様子を観戦されていました。

賑やかな会場内も競技が始まると「シーン」と静まりかえり、張り詰めた空気に包まれます。上の句が流れ始めたかと思うとすぐにバンッ!と札をたたく音。ひと札取る度に喜んだり、悔しがったり…。けれどすぐに次の勝負へ気持ちを切り替え、最後の最後まで諦めない姿に応援している方も一緒に熱くなり、会場全体の一体感が感じられました。とてもレベルの高い戦いでした。



結果は、優勝「釜利谷中学校Aチーム」、準優勝「釜利谷中学校Bチーム」、第三位「西金沢学園Aチーム」。釜利谷中学校がここ数年続いた西金沢学園の王座を奪還しました。最後まで真剣に競い合った相手を互いに称え合う生徒達の姿。釜利谷中学校 木村校長先生からは「悔しさをバネに、前に向かう生徒達の頑張りに感動した」とのお話。また、新たな時代の始まりです。このような爽やかなドラマが、歴史あるこの大会を盛り上げ、支えているのです。表彰式後、両校の生徒全員で会場の片付けを率先して手伝ってくれました。私達、青少年指導員一同、またまた感動!!

今回は、ぜひ、三校揃っての対抗戦となり、新しいドラマが生まれることを期待しています。



編集後記

いきいきフェスタやウォークラリー大会・みかん狩り・百人一首などの各地区のイベントから笑顔や楽しさが伝わりましたでしょうか。次号でも青少年指導員の活動をわかりやすく伝えます。